

JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2009 12月号

潤滑油製造業近代化基金の行政刷新会議事業仕分けについて

先の行政刷新会議による事業仕分けにおいて、公益法人等が保有する基金全てが事業仕分け対象となったことに伴い、潤滑油協会の「潤滑油製造業近代化基金」について事業仕分けが行われました。11月26日の事業仕分けの結果、公益法人等が保有する国の補助金等で造成された基金についての国の方針どおり、本基金についても「国費相当額を国庫返納」と厳しい判定が下されました。当協会では、これまで基金事業として潤滑油の品質認証、規格・標準、統計、人材養成等の潤滑油分野の基盤技術向上に不可欠な事業を実施してきておりますが、事業仕分けでは省方説明も質疑も全く実施されないまま財務省作成の論点説明で示された「金利が低水準で推移している中、事業の運営として非効率な面がある」との理由から「基金相当額の全部を国に返納し、必要額を毎年度の予算措置に切り替えるべき」との説明を評価者がそのまま受入れたことによるものと考えられます。

12月4日開催の理事会では、判定結果についての報告と審議が行われ、この結果は国の22年度予算に反映されることから、今後当局から基金に関連して出される指示などに対して迅速な対応を求められる可能性があり、当局との調整及び申請等の事務手続きを会長に一任することで了承されました。

目次

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 潤滑油製造業近代化基金の行政刷新会議事業仕分けについて | 7. 「保安防災研修会」開催のご案内 |
| 2. 09 JALOS 環境フォーラム開催 | 8. 協会の動き |
| 3. J I S 航空潤滑油試験方法原案について | 9. 潤滑油需給統計 |
| 4. 「用途別排出係数に関する合同説明会」開催と改正化審法への対応について | 10. お知らせ |
| 5. ILSAC GF-5 規格値の見直しについて | 11. 今後の予定 |
| 6. JALOS 研修会「体験コース・油中異物分析と診断事例」開催のご案内 | |

社団法人 潤滑油協会
URL <http://www.jalos.or.jp/>

なお、4日の潤滑油協会、全国石油工業協同組合の各理事会後に共催した懇談会では、石川会長より「昭和53年からスタートした基金事業は無くしてはならないものである。」と本基金の運用益で実施している各種事業の重要性についての指摘とともに、潤滑油業界を所管する資源エネルギー庁石油精製備蓄課及川課長より「潤滑油は日本の産業を支える縁の下の力持ちである。これからも皆さんの事業を支えていきたい。」とのお話をいただきました。

09 JALOS 環境フォーラム開催

平成21年11月27日(金)にアルカディア市ケ谷(富士の間)にて、資源エネルギー庁補助事業である潤滑油環境対策事業の一環として昨年度に引き続き「09 JALOS 環境フォーラム」を開催いたしました。当日は会員を中心に150余名の参加者を得て、潤滑油環境対策委員会委員長 益子正文氏(東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻 教授)の開会挨拶の後、次の3講演が行われました。

講演1. 電機メーカーの環境対策 - パナソニックグループ

グリーンロジスティクスの推進 -

パナソニック株式会社

グローバルロジスティクス本部 CSR・環境チーム

チームリーダー 金城 佐和子 氏

「電機メーカーの環境対策 - パナソニックグループ グリーンロジスティクスの推進 -」を主題に下記の内容について講演。

- ・ パナソニックグループの環境経営
- ・ グリーンロジスティクスの取組み
- ・ モーダルシフトの推進
- ・ エコトラックの導入
- ・ エコドライブの推進
- ・ 物流パートナーとの連携
- ・ バイオ燃料の導入
- ・ エコカーの導入
- ・ 省エネルギー法への対応



パナソニックグループの環境経営紹介の後、物流部門で実施しているモーダルシフトの推進、物流パートナーとの連携、バイオ燃料の導入等の環境対策への取組み例を解説。

同社は、潤滑油協会が実施している潤滑油の新燃料対応事業でのバイオ燃料車両の実車試験にもご協力をいただいております、その結果は試験車両のエンジンオイル管理基準等に活用していることを紹介。

講演 2. 改正化審法と化学業界の対応

社団法人日本化学工業協会

常務理事 豊田 耕二 氏

「改正化審法と化学業界の対応」を主題に下記の内容について講演。

- ・ 改正化審法概要
- ・ 公布後の対応状況

化審法の改正概要として既存化学物質を含めた包括的管理制度の導入、国際整合性の確保、流通過程における化学物質管理の促進等について解説、さらに公布後の施行スケジュールや対応状況等を解説。



講演 3. 自動車会社の環境対応 - 潤滑油による省燃費化への取り組み -

株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター

第 6 技術開発室 第 2 ブロック

主任研究員 田中 秀樹 氏

「自動車会社の環境対応 - 潤滑油による省燃費化への取り組み - 」を主題に下記の内容について講演。

- ・ 自動車を取り巻く環境の変化
- ・ Honda における環境への取組み
- ・ オイルによる省燃費化の取組み

Honda における環境への取組みとしてエンジン各部の省燃費化技術を解説、さらにオイルによる省燃費化の取組みとして低燃費エンジン油の開発事例、低粘度省燃費エンジン油の適用等を解説。



J I S 航空潤滑油試験方法原案について

経済産業省産業技術環境局 産業基盤標準化推進室に提出しました下記の工業標準案が受理されましたのでお知らせします。

提出日 : 平成 21 年 11 月 25 日

申出人 : 社団法人 潤滑油協会

工業標準案の名称 : 航空潤滑油試験方法

主たる改正点 : 販売が終了した「沈殿用ナフサ」に代わり「ヘキサン」を使用するように改正

「用途別排出係数に関する合同説明会」開催と改正化審法への対応について

来年 4 月施行の「改正化審法」では、国は、一定数量以上の全ての化学物質について製造・輸入事業者から毎年度届け出される用途、数量の情報等を基に、人の健康等に対するリスク評価を行い、リスクの程度に応じて必要な行政上の措置を講ずることとしています。このリスク評価では、届出された製造・輸入量と用途分類に加えて、用途ごとにあらかじめ設定した「排出係数」を用いて環境中における化学物質の人への暴露の程度を把握するため、用途ごとの排出係数の策定が必要となっています。

今般、潤滑油協会、石油連盟、全国工作油剤工業組合及び日本グリース協会では、本年 6 月の用途分類調査に続き、独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）からの協力要請を受け、改正化審法に係る排出係数一覧表作成のための調査に協力して業界側の排出係数の考え方を取りまとめることになりました。

当協会は、NITE が事業者団体を対象に開催した「化学物質の用途別排出係数一覧表の作成に関する調査の説明会（12 月 7 日開催）」に出席しました。説明会で提示された用途分類別の排出係数案に対する業界意見の集約を図るため、改めて経済産業省及び NITE のご協力を得て、関連団体とも連携して各団体会員関係者を対象にした「用途別排出係数に関する合同説明会」を 12 月 17 日に開催致しました。

当協会においては取りまとめに係っていただく技術分科会委員を中心に、会員の基油メーカー及び主要添加剤メーカーの方々にご案内を差し上げました結果、合同説明会に関連団体関係者 21 名の方々の参加をいただきました。

今後は関連団体から頂いた潤滑油に係る排出係数案への意見を業界意見として集約し、当協会がその結果を NITE へ報告することとなっております。当協会では引き続き、関連団体と連携して改正化審法に対応して参ります。

【 信頼される依頼試験を提供します 】

潤滑油の専門機関として相応しいスタッフと試験設備を技術センターに整備し、一般試験から特殊試験まで、潤滑油全般にわたる各種試験の要望にお応えできる体制を整えています。

対象試験・分析項目

潤滑油剤の規格試験、 潤滑油剤の性能試験、 潤滑油剤の成分分析
潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出 2-16-1

社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室又は技術相談室

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579



ILSAC GF-5 規格値の見直しについて

JALOS ニュース 10月号で掲載しました ILSAC GF-5 規格値（ドラフト）について 11月19日付で一部見直しがありましたので紹介いたします。見直しのあった性能項目は、エンジン試験で省燃費性能（Sequence D）及びベンチ試験でシールゴム適合性（ASTM D7216）となっています。

表1 ILSAC GF-4 と提案されている GF-5 エンジン試験規格値（新：2009年11月19日現在）

性能項目	試験法	評価項目	旧(10月5日現在)	新	
エンジン試験					
省燃費	Sequence D	SAE XW-20	FEI SUM(注1)	2.6% 以上	
			FEI 2 (注2)	1.2% 以上	
		SAE XW-30	FEI SUM(注1)	1.9% 以上	
			FEI 2 (注2)	0.9% 以上	
		SAE 10W-30および上記以外の全てのグレード	FEI SUM(注1)	1.5% 以上	
			FEI 2 (注2)	0.7% 以上	0.6% 以上

（注1）FEI SUM：FEI 1（16時間運転後の燃費向上率）とFEI 2（注4）の合計

（注2）FEI 2：100時間運転後の燃費向上率

表2 ILSAC GF-4 と提案されている GF-5 ベンチ試験規格値（新：2009年11月19日現在）

性能項目	試験法	評価項目	旧(10月5日現在)	新	
ベンチ試験					
シールゴム適合性 ASTM D7216	ASTM D471	ポリアクリレートゴム (AVM-1)	体積変化率	-5 ~ 5%	-5 ~ 9%
	ASTM D2240		硬さ変化	-10 ~ 10pts	
	ASTM D412		引っ張り強さ変化率	-30 ~ 30%	-40 ~ 40%
	ASTM D471	水素化ニトリルゴム (HNBR-1)	体積変化率	-5 ~ 5%	-5 ~ 10%
	ASTM D2240		硬さ変化	-5 ~ 5pts	-10 ~ 5pts
	ASTM D412		引っ張り強さ変化率	-20 ~ 10%	-20 ~ 15%
	ASTM D471	シリコーンゴム (VMQ-1)	体積変化率	-5 ~ 40%	
	ASTM D2240		硬さ変化	-20 ~ 10 pts	-30 ~ 10 pts
	ASTM D412		引っ張り強さ変化率	-45 ~ 0%	-50 ~ 5%
	ASTM D471	フッ素ゴム (FKM-1)	体積変化率	-2 ~ 3%	
	ASTM D2240		硬さ変化	-4 ~ 6pts	-6 ~ 6pts
	ASTM D412		引っ張り強さ変化率	-65 ~ 10%	
	ASTM D471	エチレンアクリルゴム (AEM-1)	体積変化率	-5 ~ 30%	
	ASTM D2240		硬さ変化	-10 ~ 10pts	-20 ~ 10pts
	ASTM D412		引っ張り強さ変化率	-30 ~ 30%	

（出典：www.GF-5.com：ILSAC GF-5 STANDARD FOR PASSENGER CAR ENGINE OILS DRAFT, November 19,2009）

JALOS 研修会「体験コース・油中異物分析と診断事例」開催のご案内

先月号でもお知らせしましたが、平成 22 年 1 月 21 日（木）22 日（金）の 2 日間に下記要領にて JALOS 研修会「体験コース・油中異物分析と診断事例」を開催致します。まだ定員に余裕がありますので、奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

研修日程：平成 22 年 1 月 21 日（木）、22 日（金）	講 師：コスモ石油ルブリカンツ株式会社
定 員：20 名（先着順）	販売部 統括グループ販売サポート
研修項目：<第 1 日目・午後>	グループ 専属コンサルタント 講師
設備管理における油中異物管理	（元日産自動車(株)生産技術本部 副工師）
油中異物混入油の感応検査の体験	埴 征次郎 氏
<第 2 日目・全日>	当協会 技術センター職員
設備故障の解析事例	【受講申込み先および問合せ先】
測定、解析及び診断方法の実習	社団法人 潤滑油協会・JALOS 研修会担当
受講料（テキスト代、消費税を含みます。）：	TEL 047-433-5181
正 会 員 ￥16,000	FAX 047-431-9579
特別・賛助会員 ￥21,000	URL http://www.jalos.or.jp/
一 般 ￥26,000	
研修会場：(社)潤滑油協会 技術センター	

詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

「保安防災研修会」開催のご案内

既にご案内のとおり、当協会では基金対象事業における人材養成事業の一環として、「保安防災研修会」を開催致します。余裕がありますので奮ってご参加いただけますよう改めてご案内いたします。

日 時：平成 22 年 1 月 26 日（火） 9：55～16：00（受付 9：30～）

概 要：品川インターシティー ホール棟（港区港南 2-15-4）

10：00～11：00 講演 1「化学物質に関するリスクアセスメントの事例」
（社）日本労働安全衛生コンサルタント会・東京支部 岡村 勝郎 様

11：10～12：10 講演 2「震災における被災復旧を教訓とした防災・BCP への取り組み」
（株）リケン 技術管理部 主任技師 保科 修一 様

新日本製鉄君津製鉄所（千葉県君津市）

14：00～16：00 見学 本館（MACS）-BCP の要として、災害発生時の復旧司令拠点-
およびプラスチックリサイクル設備、製銑・圧延工程等

参加費：正会員 無料 特別・賛助会員 ￥1,000 一般 ￥2,000

問合せ先：社団法人 潤滑油協会 保安防災分科会事務局

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579 URL <http://www.jalos.or.jp/>

詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

協会の動き

「化学物質の用途別排出係数一覧表の作成に関する調査」説明会に参加

12月7日(月)に事業者団体を対象に経済産業省で開催された、(独)製品評価技術基盤機構(NITE)主催の「化学物質の用途別排出係数一覧表の作成に関する調査」説明会に参加しました。

09 JALOS 環境フォーラム

11月27日(金)に開催。内容は前掲。

日本経団連・低濃度 PCB 対策 WG「廃掃法施行規則の一部改正に関する説明会」に参加

11月30日(月)に経団連会館で開催された、(社)日本経済団体連合主催による「廃掃法施行規則の一部改正に関する説明会」に参加し、情報収集しました。

ISO 18436-4 準拠 機械状態監視診断技術者(トライボロジー)資格認証技術委員会に参画

12月1日(火)に機械振興会館で開催された、(社)日本プラントメンテナンス協会主催による「ISO 18436-4 準拠 機械状態監視診断技術者(トライボロジー)資格認証技術委員会」に参画しました。

第56回 ディーゼルオイル WG に参画

12月1日(火)に石油連盟で開催された、石油連盟・(社)自動車工業会主催による「第56回 ディーゼルオイル WG」に参画しました。

2009 石油製品討論会に参加

12月3日(木)、4日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、(社)石油学会主催による「2009 石油製品討論会」に参加し、情報収集しました。

理事会

12月4日(金)にアルカディア市ヶ谷において理事会を開催し、岡本高之理事辞任に伴い柴田誠剛氏(三共油化学工業株式会社 代表取締役社長)が理事に補欠選任されました。議事内容は次のとおりです。

- (1) 平成22年 新春賀詞交換会の件
- (2) 理事補欠選任の件
- (3) その他報告等の件

BCM 最新動向セミナーに参加

12月7日(月)に東京海上日動ビル新館で開催された、東京海上日動リスクコンサルティング(株)主催による「BCM 最新動向セミナー」に参加し、情報収集しました。

ISO 機械状態監視資格認証事業委員会に参画

12月8日(火)に東京理科大学 理窓会館で開催された、(社)日本機械学会主催による「ISO 機械状態監視資格認証事業委員会」に参画しました。

平成 21 年度 第 2 回 基金運営委員会

12 月 9 日（水）に航空会館において、平成 21 年度 第 2 回 基金運営委員会（委員長：三和化成工業㈱ 武藤 英輔 氏）を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- （1）技術分科会・保安防災分科会中間報告
- （2）基金事業の見直しについて
- （3）その他

平成 21 年度 第 1 回 基金事業評価委員会

12 月 9 日（水）に航空会館において、平成 21 年度 第 1 回 基金事業評価委員会（委員長：湘南工科大学 村木 正芳 教授）を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- （1）基金事業評価委員会について
- （2）事業目標の達成度合いの検証について
- （3）その他

JACMA 油脂規格普及促進協議会 油圧作動油運営委員会に参画

12 月 9 日（水）に機械振興会館において開催された、JACMA 油脂規格普及促進協議会主催による「JACMA 油脂規格普及促進協議会 油圧作動油運営委員会」に参画しました。

第 4 回 エンジンオイル分科会に参画

12 月 9 日（水）に（社）自動車技術会で開催された、（社）自動車技術会主催による「第 4 回 エンジンオイル分科会」に参画しました。

第 49 回 設備管理全国大会に参画

12 月 11 日（金）にきゅりあん（品川区立総合区民会館）で開催された、（社）日本プラントメンテナンス協会主催による「第 49 回 設備管理全国大会」に参画しました。

第 3 回 基本問題検討会

12 月 16 日（水）に商工会館において、第 3 回基本問題検討会（座長：石川会長）を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- （1）基金返納と協会の今後のあり方
- （2）その他

二輪エンジンオイル分科会に参画

12 月 16 日（水）に川崎重工業（株）で開催された、（社）自動車技術会主催による「二輪エンジンオイル分科会」に参画しました。

ISO・JIS 試験法分科会に参画

12 月 16 日（水）に石油連盟で開催された、石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画し、ISO・JIS 原案について審議しました。

ISO 9001 維持審査

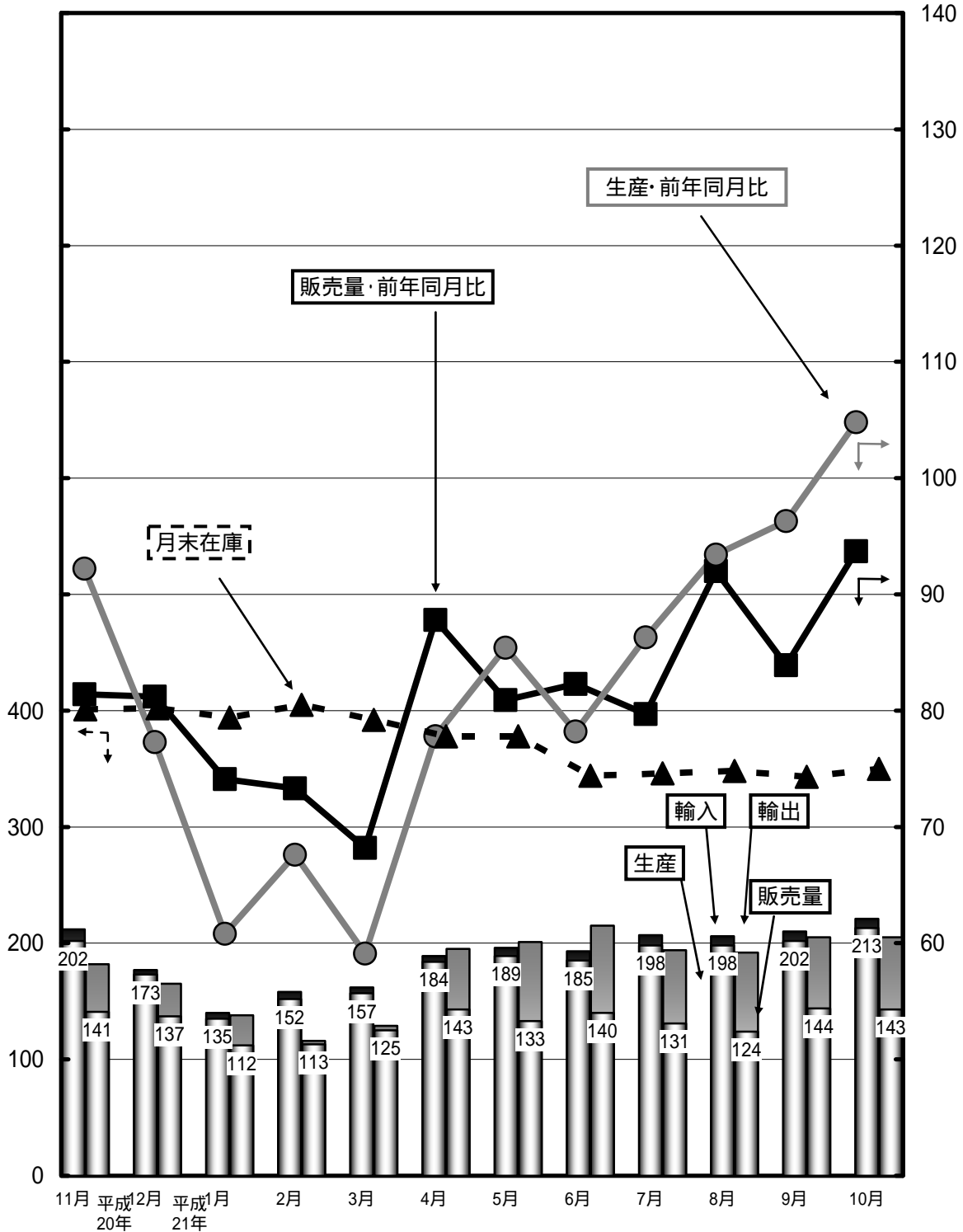
12 月 18 日（金）に当協会技術センターが、外部審査機関である日本化学キューエイ（株）による ISO 9001 維持審査を受審しました。

潤滑油需給統計

10月の生産量は213千kLで前年同月比で4.8%上回り、販売量は143千kLで6.3%下回った。

(千kL)

(%)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産 Production	輸入 Import	国内向販売 Domestic sales	輸出 Export	在庫 Inventory	販売部門 (製造業者・輸入業者) Sale section (Manufacturers and importers)	
						生産部門 Production division	
平成18年	2,656,077	82,615	2,061,152	573,783	366,100	198,122	167,978
19	2,563,558	82,073	1,944,865	619,257	326,148	167,127	159,021
20	2,636,357	75,751	1,888,509	628,366	402,326	214,700	187,626
平成19年度	2,609,281	86,809	1,938,421	664,697	339,270	174,417	164,853
20	2,367,951	72,008	1,749,997	518,102	392,068	203,025	189,043
平成20年7～9月	651,675	18,749	471,190	165,332	364,546	189,211	175,335
10～12	578,890	19,472	430,048	98,141	402,326	214,700	187,626
平成21年1～3月	443,919	16,215	350,716	93,244	392,068	203,025	189,043
4～6	557,273	20,549	416,589	194,951	344,067	172,419	171,648
7～9	598,455	24,448	399,360	191,822	343,416	180,339	163,077
平成20年 8月	212,292	3,974	134,997	54,560	386,693	204,311	182,382
9	209,591	6,359	171,712	55,081	364,546	189,211	175,335
10	203,687	5,652	152,114	29,131	377,473	198,448	179,025
11	202,228	9,819	141,280	41,241	400,808	208,317	192,491
12	172,975	4,001	136,654	27,769	402,326	214,700	187,626
平成21年 1月	134,972	5,092	112,455	26,464	394,493	200,358	194,135
2	151,527	6,478	113,284	26,022	404,921	206,082	198,839
3	157,420	4,645	124,977	40,758	392,068	203,025	189,043
4	183,761	5,279	143,459	51,805	377,604	198,570	179,034
5	188,682	7,332	133,300	68,216	377,635	197,800	179,835
6	184,830	7,938	139,830	74,930	344,067	172,419	171,648
7	198,347	8,569	131,012	63,171	345,511	175,897	169,614
8	198,183	7,923	124,259	67,775	348,205	178,333	169,872
9	201,925	7,956	144,089	60,876	343,416	180,339	163,077
平成21年 10月	213,450	7,937	142,597	61,743	349,943	181,765	168,178
前年同月比 (%)	104.8	140.4	93.7	211.9	92.7	91.6	93.9

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

お知らせ

経済産業省新型インフルエンザ業務継続計画について

経済産業省は平成 21 年 12 月「経済産業省新型インフルエンザ業務継続計画」を公表いたしました。本事業継続計画は、「強毒型」の新型インフルエンザ（「鳥インフルエンザ（H5N1 型）」等）の流行を想定したものです。今年春から流行している新型インフルエンザ（H1N1 型）は「弱毒型」であり、「強毒型」の新型インフルエンザに対応する BCP を選択適用すれば対応可能としています。「策定の目的」「基本的な考え方」「業務の優先度の考え方」「人員・物資等の確保」「感染防止の徹底」などからなる事業継続計画となっております。

詳細については以下の URL（経済産業省ホームページ）をご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/press/20091208004/20091208004.html>

平成 21 年工業統計調査の実施について

経済産業政策局調査統計部産業統計室は、平成 21 年工業統計調査を我が国の製造業の実態を明らかにするために、全国の製造業の事業所を対象として、毎年 12 月 31 日現在で調査を行っております。本年は従業者 4 人以上の事業所が本調査の対象であります。この調査の対象となったすべての事業所は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 13 条（報告義務）及び第 15 条（立入検査等）の規定（これらの規定に係る罰則を含む。）の適用があります。

調査の結果は、工業統計速報として翌年の 9 月下旬頃に公表し、その後「工業統計表 産業編」などとして公表されます。公表は経済産業省のホームページでも行っております。

詳細については以下の URL（経済産業省ホームページ）をご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/gaiyo/21jisshi.pdf>

「土壌環境リスク管理者」講習会について

事業所等の環境管理者・不動産等の管理者向け「土壌環境リスク管理者」資格の第 22 回講習・試験が平成 22 年 3 月 10 日、11 日の 2 日間にわたって、会場を東京で実施されます。本資格は、(1) 周辺の土壌・地下水汚染を未然に防止し、また、(2) 土地の資産価値を維持向上させるための、土壌汚染が懸念される工場又は事業場敷地内の土地の汚染状況を、自ら把握するために、基本的な知識と汚染拡散防止対策に関する予備的知識について講習し、試験に合格したものを認定するものです。

詳細については以下の URL（社団法人 土壌環境センターホームページ）をご覧ください。

<http://www.gepc.or.jp/shikaku-info/riskkanri/annai22.html>

中小企業庁 資金繰り支援チラシについて

中小企業庁では、2009 年 12 月 15 日より条件変更対応保証制度が開始されることに伴い、資金繰り支援チラシを作成したとのことです。内容については中小企業庁 金融サポートページを参照下さい。

<http://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/index.html>

微量 PCB 汚染廃電気機器等収集・運搬ガイドライン等の公開について

JALOS ニュース 11 月号でお知らせしましたとおり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令等が平成 21 年 11 月 10 日付けで公布されました。環境省ホームページにおいて、微量 PCB 汚染廃電気機器等収集・運搬ガイドラインおよび焼却処理のガイドラインが、公開されましたのでお知らせします。内容については以下の URL を参照下さい。

ポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄物処理

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/index.html>

微量 PCB 汚染廃電気機器等収集・運搬ガイドライン (平成 21 年 11 月)

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/manual/index2.html>

微量 PCB 汚染廃電気機器等の処理に関するガイドライン - 焼却処理編 - (平成 21 年 11 月)

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/manual/index3.html>

改正省エネ法パンフレットについて

この度、資源エネルギー庁省エネルギー課より、改正省エネ法についての周知依頼が参りました。

既に JALOS ニュースでもお知らせしましたとおり、平成 20 年 5 月の省エネ法改正に伴い、平成 22 年度より「事業所」から「事業者」へと規制の単位が変更されることなどにより、省エネ法の指定を受ける事業者が大幅に増えることが予想されるため、省エネ法改正の内容について広く事業者の方々に周知すべく、パンフレットを作成したとのことです。

詳細については以下の URL (資源エネルギー庁ホームページ) をご覧下さい。

平成 20 年度省エネ法改正の概要

<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/080801.htm>

パンフレット詳細版 『改正省エネ法の概要 2010』(PDF 形式: 14.4MB)

<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/panfu2.pdf>

今後の予定

賀詞交換会 (潤滑剤等五団体共催)

1 月 13 日 アルカディア市ヶ谷

JALOS 研修会

「体験コース・油中異物分析と診断事例」

1 月 21 日, 22 日 前掲

平成 21 年度保安防災研修会

1 月 26 日 前掲

理事会

3 月 26 日 アルカディア市ヶ谷

禁無断転載

発行日 平成 21 年 12 月 20 日

発行所 社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出 2-16-1

TEL 047-433-5181 (代表)

FAX 047-431-9579

印刷所 株式会社みつわ